

議 事 録

会 議 名	令和6年第2回岡崎警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和6年6月19日（水） 午後3時から午後5時までの間 ----- 岡崎警察署 講堂
出 席 者	<p>1 委員 山口 明則 会長 鈴木 弘一 委員 長坂 秀志 委員 ナガノ イナ カツ 委員 前山 敏昭 委員 浅岡 昌平 委員 山本 弘行 委員 若杉 伸一郎 委員 林 保克 委員 矢野 快子 委員 米津 ナオ 委員 向井 友紀 委員 以上12名（定数15名）</p> <p>2 警察署員 尾関署長 梅野副署長 小山警務課長 稲葉会計課長 丹羽生活安全課長 佐藤刑事課長 山口交通課長 水野警備課長 以上8名</p> <p>3 有識者等 なし</p>
諮 問 事 項 等	警察の外国人安全対策に望むこと
答 申 等 の 概 要	<p>1 対象に沿った広報活動の推進 ～ 来日したばかりの子供や企業、派遣会社に対する 広報の実施</p> <p>2 交通安全教育の推進 ～ 「命にかかわる問題」であるとの意識向上</p> <p>3 警察業務の広報の推進等 ～ 警察は犯罪者を検挙するだけでなく、外国人を含 めて市民の安全を見守る仕事であることを周知する 広報の推進</p>
そ の 他	次回開催予定 令和6年9月中旬頃

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長挨拶
2	署長挨拶
3	管内の治安情勢説明
	(1) 令和6年5月末現在の管内の犯罪発生状況（生活安全課長説明）
	(2) 令和6年5月末現在の交通事故発生状況（交通課長説明）
4	前回の答申に対する具体的施策の推進状況
	(1) 諮問事項
	大規模災害に備えるため警察に望むこと
	(2) 答申事項
	ア 発災時の治安維持に必要な体制等の確保
	～人員及び非常電源等の整備
	イ 他の行政、他団体との連携、訓練の推進
	ウ 警察の行う災害対策を市民に周知させる活動の推進
	～警察の災害対策のPR及び発災時の情報発信（交通事情、外国人への対応等）
	(3) 施策の推進状況
	ア 答申事項のアについて
	(ア) 発災時における早期体制確保を目的として職員の安否確認訓練を実施したほか、職員の自主参集基準を記載したポケット基準表を全職員に配布するなど、職員の危機意識の醸成を図った。
	(イ) 発災時における停電に備え、非常用電源設備や電動バッテリー及びガソリン式発電機の定期的な点検を実施した。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
(ウ) 職員等の非常食の保存状況を確認するとともに救出救助資器材の整備点検を定期的実施した。	
イ 答申事項のイについて	
(ア) 岡崎市、幸田町の総合防災訓練に参加し、消防や自衛隊等との救助訓練の向上及び連携強化に努めた。	
また、遺体安置所設置運営訓練を実施したほか、迅速な情報共有のため無線機等を活用した情報伝達訓練を継続的に実施した。	
(イ) 自治体が主催する防災関係会議に参加し、情報共有や役割の確認を実施した。	
(ウ) 大規模災害発生時に救出活動等が円滑に実施できるよう、関係機関と各種協定を締結している。	
ウ 答申事項のウについて	
(ア) 自治体等が主催する各種イベントに参加し、高性能救助車の展示や災害派遣時の活動を写したパネルを展示するとともに、チラシの配布を実施し、住民の防災意識の高揚を図った。	
(イ) 管内の外国人技能実習生に対する防災意識の高揚、自助・共助の能力の向上を図るため、防災講話やシェイクアウト訓練等を実施した。	
5 諮問	
(1) 諮問事項	
警察の外国人安全対策に望むこと	
(2) 諮問事項の設定理由（警務課長説明）	
ア 愛知県は、製造業が集積することも影響し、外国人が多く居住してお	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
り、外国人と日本人との間で発生する各種トラブルが問題となっている。	
今後、外国人居住者数は更に増加することが予想され、国籍や在留資格の多様化が進む中、外国人犯罪の検挙だけでなく、外国人に対する広報啓発活動が重要である。	
特に、災害時の対応について、外国人への防災教育が行き届かず、有事の際に適切な行動がとれず、混乱を招くことが懸念されるため諮問事項として選定した。	
6 協議	
委員	・ 岡崎署管内の外国人の居住状況は説明があったが、町内会、学区単位でのデータがあれば、外国人安全対策も進めやすくなる。
委員	・ 外国人学校等では、いじめや被害を受けたら警察に相談するよう指導しており、犯罪を犯したり、被害に遭わないようにしている。
	以前、外国人の集会に警察が参加し、新しいルール等を説明してくれた。是非、外国人の集会等に警察が参加してほしい。
委員	・ 外国人に対して、警察は犯罪者だけに対応するのではなく、良い人にも親切に対応してほしい。
	警察は、市民を見守る仕事をしているというイメージを持ってもらうことが大切だと思う。
委員	・ 言葉の違いもあって、しっかり伝わっているのか心配なときがある。
委員	・ 保護司で外国人を担当したことがあったが、言葉が通じないため怖いと感じたことがあり心配だった。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
委員	<p>・ 車についても自身の車ではなく、借りて乗っている外国人もいた。保険等も不十分ではないかと感じていて、日本の法規等を別に教育する機会が必要だと思う。</p>		
委員	<p>・ 国際運転免許証は、日本で切り替えることができる。車のハンドルの位置や信号や標識も違う。講習等もあると聞いているが、しっかり教える場所が必要だと思う。</p>		
委員	<p>・ 「命が大事」、交通事故や違反は「命にかかわる問題」という意識を持ってもらうことが必要だと思う。</p> <p>外国人の交通違反により交通事故に遭った。やはり、外国人に交通ルールを伝える場を設けるのが大切だと思う。</p>		
委員	<p>・ 外国人を雇用していたが、ルールを教えるため旅行に行ったりしてコミュニケーションを図った。</p>		
委員	<p>・ 雇用している側としては、ルールなどを知らないことからトラブルに巻き込まれないか心配である。</p>		
委員	<p>・ 技能実習生等には講話を行っているが、入国間もない小学校、中学校の子供たちに実施してほしい。</p> <p>学年別にテーマを決め、また頻度を上げて行うことでコミュニケーションも醸成される。</p>		
委員	<p>・ 子供に指導することにより、それが親兄弟に伝わり、波及効果もあると思う。</p>		
委員	<p>・ 外国人の入国に関する仕事をしているが、技能実習生等の外国人に教養することも必要だが、外国人の雇用者や派遣会社等にも教養</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨	
する場を設けるのも効果があると思う。	
7	答申
(1) 対象に沿った広報活動の推進	
～ 来日したばかりの子供や企業、派遣会社に対する広報の実施	
(2) 交通安全教育の推進	
～ 「命にかかわる問題」であるとの意識向上	
(3) 警察業務の広報の推進等	
～ 警察は犯罪者を検挙するだけでなく、外国人を含めて市民の安全を見	
守る仕事であることを周知する広報の推進	
8	その他
次回の開催予定は、9月中旬頃とする。	
記録者	警務係長